

# 2014年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議事録

日時：2014年6月13日（金）15時30分～17時10分

場所：仙台管区气象台第3会議室（3階）

出席：高瀬、青木、岩崎、佐伯、境田、葦澤、渡辺、児玉、高橋、和田（代理出席）（以上理事）、小室（会計監査）、山崎、折笠、金濱（以上幹事）

欠席：杉山理事

司会：渡辺理事

出席者紹介：各人から自己紹介

支部長挨拶：境田支部長代理から理事会開催の挨拶

## 議題1. 東北支部第29期役員選挙の結果

- ・議案のとおり役員が決定した（任期は2015年度まで）。

## 議題2. 新支部長及び新常任理事の互選

- ・事務局(案)のとおり推薦選任した。

|      |         |                  |
|------|---------|------------------|
| 支部長  | 高瀬 邦夫 氏 | 仙台管区气象台長         |
| 常任理事 | 青木 周司 氏 | 東北大学大学院理学研究科教授   |
|      | 岩崎 俊樹 氏 | 東北大学大学院理学研究科教授   |
|      | 佐伯 芳 氏  | 日本気象協会東北支局長      |
|      | 境田 清隆 氏 | 東北大学大学院環境科学研究科教授 |
|      | 杉山 公利 氏 | 日本気象予報士会東北支部長    |
|      | 葦澤 浩 氏  | 仙台管区气象台気象防災部長    |
|      | 渡辺 真二 氏 | 仙台管区气象台気象防災部予報課長 |

- ・新支部長からの挨拶（次号の支部だよりで掲載予定）

## 議題3. 事業等の担当理事の選任

- ・事務局(案)のとおり承認した。

|  |                          |
|--|--------------------------|
| ①支部気象講演会<br>(2014年度福島開催)<br>(2015年度宮城開催) | 境田常任理事<br>高橋地方理事<br>在仙理事 |
| ②支部気象研究会                                 | 渡辺常任理事                   |
| ③東北支部だより                                 | 児玉地方理事                   |
| ④支部独自活動                                  | 杉山常任理事                   |
| ⑤支部事務局                                   | 渡辺常任理事                   |
| ⑥会計監査                                    | 小室会計監査                   |

- ・2015年度宮城の支部気象講演会について、前回(2009年度大崎市)は境田理事と仙台管区气象台事務局が中心となって実施した。

#### 議題4. 2013年度事業報告及び会計報告

- ・2014年度奨励賞への応募について、葦澤理事より補足あり。
- ・前回の支部理事会（2013年3月13日）以降、2013年3月31日分までの会計報告。議案を承認した。

#### 議題5. 2013年度会計監査報告

- ・議案を承認した。

#### 議題6. 2014年度事業計画及び予算

##### (1) 事業計画

##### 1) 東北支部気象講演会

2014年度支部気象講演会について、開催担当である福島地方気象台の高橋理事より説明。概要は次のとおり。

日 時：平成26年11月23日（日）14時00分～16時30分（開場13時30分）

会 場：コラッセふくしま 多目的ホール（スクール形式288名）

テーマ：「東日本大震災以後の福島の空 ー豪雨、大雪、大気中放射性物質ー」

講演者：渡邊 明 氏（福島大学 共生システム理工学類 特任教授）

小畑 英樹 氏（福島地方気象台 観測予報管理官）

その他次のような意見等が出された。

- ・気象台の講演内容を早めに渡邊先生へ伝えてはどうか。講演内容で関連付けた話ができるかもしれない。
- ・放射性物質に係る問題については、気象学会としてレポートを取りまとめ中であり、この成果を講演会で紹介してもらえるように準備したい。（岩崎理事）
- ・定員が200名以上であり、人集めなどの努力が必要か。  
→ 駅前の便利な場所であり、関心が大きいテーマでもあることから、出来る限り宣伝したい。（高橋理事）
- ・会場費の請求書宛先が気象台だと割引対象になるため、そのように進めて問題ないか。  
→ （共催として気象台が入り、）実施要領等と整合性をとればよいかと思う。

##### 2) 支部気象研究会

- ・今年度も仙台管区気象台の調査研究会の2日目午後開催予定。
- ・研究を本務としていない方、学生には学会員に限定して、旅費の補助を出してはどうか。  
→ 総額の上限を決めて、可能な範囲で補助する方向で進める方向で承認。既に実績のある支部の場合を参考に、当研究会の告示段階で案内を出したい。

##### 3) 支部だより

- ・第1回は7月発行予定。新支部長挨拶を掲載する。
- ・各地方で記事投稿のご協力をお願いしたい。

##### 4) 支部理事会

- ・議案のとおり。

##### 5) 支部強化基金による活動

- ・気象サイエンスカフェを11月頃の週末に仙台市で開催する予定。テーマ・日時・会場は予報士会やワーキンググループが中心となり詰めていき、準備を進める。
- ・昨年度は会場をおさえるのに問題があった。開催の半年前から動かないといけな  
いが、予報士会が中心となって動いてもらえるように働きかける。
- ・気象協会は、公益性がある開催内容であれば協力しやすい。(佐伯理事)
- ・ネタとして、気象衛星や冷夏などが考えられるか。
- ・開催1ヶ月前に周知するとして、テーマは開催3ヶ月前には決める必要がある。

#### 6) 日本気象学会奨励賞などへの応募

- ・奨励賞候補者推薦委員会に予報士会の理事が新たに加わり、団体グループも選定  
対象に入ることを見記するように規定が変更される。(菑澤理事)

#### (2) 2014年度予算案

支部一般会計について、昨年度と大きく異なる事項を補足説明し、主な意見等は次のとおり。

(〔支部一般会計〕の表訂正：I 収入の部、事業活動収入計、2014年度予算額 [誤]735,837円→  
[正]735,887円、増減 [誤]60,641円→[正]60,691円)

- ・支部だよりの内訳として、1回あたり印刷代が約6万円、郵送料が約1.5万円。  
→ 事務局の労力を省くため、郵送込みの発注も検討し見積りを取ることにする。
- ・全会員への支部だより郵送の是非について議論。  
→ 全会員のメールアドレスが無い点などから、従来の方法とする。
- ・支部気象講演会は、昨年度と比べ今年度の交通費は減るのでは。  
→ その分を減らして他の項目に充てたい。
- ・支部気象研究会の予算案は印刷代が主であるが、旅費補助の追加分を予備費等から捻  
出して再提案したい。  
気象サイエンスカフェ予算について補足説明し、主な意見等は次のとおり。
- ・各自の手元にプレゼン資料を配布した方がよいという反省があったことから、資料等  
の印刷代をもう少し増額してもよいのでは。
- ・会場費も柔軟に考えて、相応しい会場が利用できるのであれば経費の分だけ計上して  
もよいのでは。多少予算が超過しても、本部に相談すれば補填してくれると思う。
- ・予報士会分担金については特に問題なし。
- ・昨年度気象学会が公益社団法人に移行したあと、公益性のある広報・普及啓発活動を  
積極的に進めていくことが求められている。例えば、7月20日仙台で開催予定のサイ  
エンスデイを学会として支援して取り組んでもよいのでは。  
→ 支部として既存のイベントを協賛・補助して活動をアピールするのも効果的。
- ・支部気象講演会は各県持ち回りで6年に1回行っているが、数年のブランクがあると  
一から準備し直しということもあり、隔年程度で開くのはどうか。  
→ まず予算の問題なのか労力の問題なのか分析し、検討する必要がある。
- ・次年度のサイエンスカフェ、講演会など支部独自活動の方向性を事務局でまず探り、  
次回理事会(1月予定)で検討することとする。労力や予算を精査して、無理のない  
取り組みができるようにする。

#### 議題7. その他

議案のとおり。

- ・今春の支部会員数の減少は、学生の大学卒業に伴うものが主。
- ・気象講演会等の案内お知らせを送るため、事務局より福島県内の会員情報を後で教えてほしい。(高橋理事)

以上